

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 27
2020・10・13

1 連邦農業大臣：ゲノム編集技術でノーベル化学賞受賞を祝う

ードイツ・エマンウエル シャルパンティエ工学博士ー (2020・10・7)

今日（10月7日）ノーベル委員会が2020年度のノーベル化学賞に、ドイツ・マックス・プランク感染生物学研究所長エマンヌエル シャルパンティエ（Emmanuelle Charpentier）に決定したことを公表した。彼女の功績は、ゲノム編集技術ーCrispr-Cas9（クリスパー キヤスナイン）の開発である。これは標的DNAの鎖を切断する「遺伝子ハサミ」である。

連邦農業大臣クレックナーが、この報を受けて声明を發した。”ノーベル委員会の決定は、まさに農業と世界食料にとっても、極めて重要である。世界では今なお多くの人々が飢えている。気象変動、干ばつ、水不足、新しい害虫が、作物の収穫を脅かしている。我々は少ない農薬を用いながら、それにも拘わらず安定した収穫を望んでいる。このCrispr-Cas9は、この問題解決を助けることができる。私は心からお祝いの言葉を彼女に贈りたい。

我々は伝統的な作物育種は、目的に合わせて有用植物の遺伝素質に適応してきた。この「遺伝子ハサミ」でもって、目的に合わせて迅速に研究することができる。私はこのような新しい育種方法に希望を抱いている。自然に万能薬はない。我々は天候の気まぐれさ、気象変動のに対して効力をもった、そして少ない農薬で済む作物を必要とする。

それから我々は、作物育種のためのこのような方法の認可について、責任をもった議論を行う。ストックホルムの決定は、まことに刺激的である。”

2 ドイツ連邦議会：栄養評価一表示システム導入を可決する

(2020・10・9)

連邦議会は、連邦食料・農業大臣から提出された栄養評価一表示システムの導入について合意した。食品企業は11月から栄養評価システムを、法的安定性の中で活用できる。このシステムの広範な利用のための方法は、連邦議会が今日（10月9日）連邦食料省の規則として可決した。

クレックナー大臣は、ドイツにおける食品の包装上に、EU一域内に拡大された栄養表示としてのこのシステム導入を決定した。この規定は今、法的安定性の活用が可能である。これは連邦法律公報に、多分11月初めに記載される。この栄養一評価システムは、一目で食品の栄養価特性を理解し、そして1つの産物グループ内で多様な産物を、栄養価について互いに比較可能である。

クレックナー大臣：栄養価一表示の導入は、ドイツにおける栄養政策の重要な礎石である。これは食料購入に際しての意識強化の重要な第一歩である。そして我々の日常生活に紛れ込んで「肥満首謀者」（チョコレートなど高カロリーな食品）に反対する。我々は消費者のために、一目見てわかる指針を創り出すと同時に、消費者の行動を個人的状況に適応させること。我々は健康な食料提供を、より多くの情報でもって可能とする。

私は色で識別し、そして食品に広範囲にはっきり示されることを、企業に期待している。企業は透明性を創り出さねばならない。連邦食料省はこの表示システム導入について、消費者のための広範な情報キャンペーンを付随して実施する。www.nutri-score.de のもとに、情報、専門家の意見、頻繁に出される質問への回答、PRアニメーション並びに出版物を活用する。

拡大された栄養一表示の国内導入は、現行のEU一法によって義務づけられていない。フランス、ベルギーにおいても、またスカンジナビアのKeyhole-Systemも義務づけられていない。そのため、クレックナーはさらに多くの加盟国の支援でもって、EU内での統一した栄養価一表示導入のために尽力する。大臣はEU内での一致促進のために、ドイツのEU一議長職の領域において、このテーマに関する議論を開始する。目標は12月のEU一農相理事会の会議において、加盟国共通の栄養価一表示の統一した導入の結論に達することである。

背景：

緑のAから赤のEまでの色で表示されている栄養価一表示の5段階の色一文字組合せは、食料品の栄養価を示している。産物グループ内で緑のA一評価の食品は、赤いE表示の産物よりも、健康な栄養に評価される。

3 クレックナー大臣：農業と園芸におけるエネルギー効率性とCO₂削減 (2020・10・9)

連邦プログラム「農業と園芸におけるエネルギー効率性とCO₂一削減をスタートさせた。奨励指針は、今すぐにコンサルタント奨励への申請が可能になる。集中的な申請は、11月1日からできる。連邦大臣クレックナーは、「連邦プログラム・エネルギーの効率性」を、さらに発展させる。それは経営上のエネルギー節減プログラムから、エネルギーに結びついたCO₂一削減プログラムである。

具体的には現在のエネルギー使用から、CO₂一放出を減らす奨励を目指している。再生利用可能エネルギー源並びに自走式機械と器具に、奨励の焦点を移している。同時に今、全国の農業と園芸において気象に優しいエネルギー利用と、これの生産をカバーすることができる。

クレックナー大臣：コンサルタント奨励への申請は、連邦食料・農業庁に www.ble.de/energieeffizienz でもって申請できる。集中的な奨励申請は、2020年11月から可能である。申請可能な経営は、園芸を含む農業の第一次生産の小一中規模経営である。そして適合した施設または知識移転の奨励分野において可能である。

2020年1月1日以来、この連邦プログラム「エネルギー、そして気象変動」から財政支出される。同時に財政準備が、明らかに高まっている。2020年から2023年の中期財政プランにおいて、合計1億5600万ユーロ（約187億円）が計画されている。このプログラムは、さらに継続される。

背景：

新しい連邦プログラムは、2050気象保護プラン実践のために、連邦政府の2030年の気象保護プラン実現に貢献する。それは毎年農業において温室効果ガスを、2030年までに2014年対比で合計1400万tのCO₂一等価を、減らすことである。エネルギー効率の向上と農業と園芸におけるエネルギーからのCO₂一削減は、毎年150万tのCO₂一削減潜在力をもっている。

4 クレックナー大臣：アフリカ豚コレラとの闘いは長距離走である

－ EU から専門家チームを発症現地に派遣－ (2020・10・8)

連邦大臣クレックナーが、ブランデンブルグ州のアフリカ豚コレラ（ASP）危機対策本部を訪れた。その後、オーダースプレー郡の猪侵入阻止のための柵囲い設置対策を視察した。クレックナー大臣は、今日（10月8日）ブランデンブルグ州の現地で、動物感染症との闘いを把握した。連邦大臣は、州首相ゲートマール ヴァイドケとともに、ASP と闘う現地での技術的な投入成果について話し合うために、現地対策本部を訪れた。その後、オーダースプレー郡の柵囲い対策を視察した。

さらに連邦大臣：” ASP との闘いは長距離走である。我々は全ての人々が、互いに手を携えて活動するときのみ成功する。私にとって重要なこと。我々は早急に共同で、行動しなければならない。これは郡との適切な共同とともに、さらに州レベルでの取り組みが重要である。ブランデンブルグ州が、この感染症を阻止する役割を果たす活動は、ドイツとヨーロッパ全体のためにも重要である。

ASP のさらなる拡大を阻止することは、非常に価値あることである。大臣は続けた。EU 委員会において私は力を尽くしている。該当する管轄機関が助言するために、EU の専門家チームが、ブランデンブルグ州に派遣される。そして例えば目下の「白いゾーン（未発症地域）」と発生の核心地域を調整について助言する。”

さらに連邦大臣は EU による柵囲い対策のために、共同助成財源の提供を実現した。さらにクレックナーは強調した：” 私の関心は、現地の農業者にも向いている。農業者の多くは、ASP 発症地域において、トウモロコシ畑に隠れている猪の追い立ては不可能である。そのため、私は明確にしている。つまり、我々は農業者が大きな被害を被ることを、視野に入れねばならない。”

フリードリッヒローエフラー研究所（Friedrich-Löffler-Institut）は、猪の ASP 発症を 53 事例確認している（10月8日現在）。しかし、ドイツ国内の養豚には依然として発症していない。この豚コレラは、人間については危険が無い。

5 フリードリッヒ研究所：アフリカ豚コレラをさらに 10 頭の猪に確認
ーこれまでの発生地域内で合計 65 頭に発症ー (2020・10・12)

発見場所は最初の確認地域内で合計 65 頭に。

連邦農業省はブランデンブルグ州において、10 頭の猪にアフリカ豚コレラ (ASP) の発生情報を公表した。これは今日 (10 月 12 日) フリードリッヒローエフラー研修所が、疑わしい検体にこの感染症を確認した。全 10 頭の発見場所は、最初に ASP が発見された地域内である。オーダースプレー郡で 8 頭、後の 2 頭はスプレーナイス郡で発見された。

猪の大規模な探索に際してドローン技術でもって、メールキッシューオダーランド郡にある第 2 の発生中核地域で、イノシシの大きな群を発見した。死亡した猪と ASP の疑いのある猪も。フリードリッヒ研究所の専門家の参加のもとに、感染症発生郡の管轄機関によってさらに解明を進めている。目的はこのイノシシ群を隔離し、この感染症の拡大を阻止することである。ドイツにおける養豚において、ASP の発生は依然として無い。

q

2020・9・14

訳

青森中央学院大学

中川 一徹